

2021年12月11日

関係者各位

どうする島根原発？みんなで決める松江の会
島根原発稼働の是非を問う住民投票を実現する会・米子
どうする島根原発？みんなで決める出雲の会

3 地域共同メッセージ

「大事なことを 自分たちのまちの未来を 原発のことも みんなで決めよう」

島根原子力発電所の稼働をめぐり、市民の意思を示すための住民投票の実現を求める動きが、島根・鳥取両県で起きています。いまなぜ、立地地域と30キロ圏内の複数の地域で、住民投票の実現を目指す運動が沸き起こっているのでしょうか？

3地域が共通して重視する点は以下の通りです。

1. 島根原子力発電所の（再）稼働の是非を判断する際、市長・議員は「市民の総意を尊重すべき」である
2. 市民の総意を明らかにするためには、熟議を経た住民投票（主権者としての住民の意思を表明する機会）が不可欠である
3. ひとりひとりの住民が、地域の未来や原発、エネルギー問題に関心を寄せ、賛成か反対かに偏らない多様な意見を知り、住民の間で熟議の場をつくりあげることが、民主主義の深化をもたらし、レガシー（未来への遺産）となって次世代へ引き継がれる

私たちは、島根原発の稼働に関して「住民投票を求める全ての地域で住民投票が実現すること」、さらに、投票日に、「住民ひとりひとりが自らの選択を記した票を投じていくこと」を共通のゴールとします。

署名を集める中で、また準備を進める中で、島根原発の稼働について住民投票を目指すことへの、住民の関心の高まりを感じています。共通のゴールを目指し、法定署名数を大幅に超える署名を集め、住民の関心と支持をさらに高めていきます。

ひきつづき、各方面からのご支援、ご協力を、よろしくお願いいたします。

以上